

平成 23 年 4 月 3 日



平成 23 年度 新エネルギービジネスと社会受容

世話教員：西條美紀（留学生センター教授）

日時： 前期前半集中（5 月 16 日～24 日）18:00-19:30 全 7 回

場所： 大岡山キャンパス西 8 号館 3 階 W834

単位： 1 単位 工学系広域科目 申告番号 99313 （最大履修人数：約 60 名）

課題： 出席、レポートの提出

新しい産業・社会の確立には、単なる技術開発だけではなく、多様な視点と社会的な問題解決能力が個人と社会にとって必要となる。今大きな注目をあつめているエネルギーを題材に、最先端の研究を踏まえつつマーケティング、CRM（コズリレーテッドマーケティング）、自治体等の取り組みについて学ぶ。

スケジュール：

日付	講師・内容
0. 4 月 7 日(木)	科学技術コミュニケーション論全体ガイダンス
1. 5 月 16 日(月)	西條美紀:新エネルギービジネスと科学技術コミュニケーション
2. 5 月 17 日(火)	ゲスト: 赤井誠(産総研) :今日のエネルギー情勢と CCS
3. 5 月 18 日(水)	ゲスト: 田中幹人(サイエンスメディアセンター):科学情報を伝えるハブ
4. 5 月 19 日(木)	ゲスト: 黒川浩助(東工大)・太陽光発電とスマートグリッド
5. 5 月 20 日(金)	ゲスト: 世良耕一(東京電機大):社会貢献と企業利益をつなぐコズリレーテッドマーケティング
6. 5 月 23 日(月)	ゲスト: 山梨文徳(日産自動車総合研究所):自動車会社の取り組みと実証
7. 5 月 24 日(火)	ゲスト: 井ノ上俊宏(栃木県庁):自治体による新エネルギー導入の取り組み

注：受講対象者は東京工業大学の大学院生とするが、所属学生以外の社会人等の聴講も排除しない。ただし受講は東京工業大学の学生を優先する。

■講義日程の最新情報についてはウェブサイトで告知

<http://sec-titech.jp/>

平成 23 年 4 月 3 日



平成 23 年度 科学技術コミュニケーションと教育

世話教員：川本思心（理工学研究科 特任助教）

日時： 前期後半（5 月 26 日～7 月 14 日）木曜 3-4 限（10:45-12:15）全 7+* 回

場所： 西 1 号館（留学生センター）1 階 118 号室（ラウンジ）

単位： 1 単位 大学院総合科目 申告番号 99525 （最大履修人数：約 30 名）

課題： 出席、コンテンツ作成・提出、レポートの提出

科学技術コミュニケーションの基礎に関する講義を受けながら、各自の研究に関連した小学校教員や児童の学習に役立つ簡易なコンテンツを作成する。自分の専門分野を、児童に対する初等教育という枠組みでとらえ直す作業を通して、科学技術コミュニケーションの理論と実際を学ぶ。

スケジュール：

* 大田区教員研修として実施

日付	講師・内容
0. 4 月 7 日(木)	科学技術コミュニケーション論全体ガイダンス
1. 5 月 19 日(木)	川本思心: 科学技術コミュニケーションーその社会的背景と実践例
2. 5 月 26 日(木)	鈴木正昭: 大学が地域に貢献する意義(仮題)
3. 6 月 2 日(木)	西條美紀: 言語学から見た科学技術コミュニケーション(仮)
4. 6 月 9 日(木)	野原佳代子: アートによるサイエンスのトランスレーション(仮)
5. 6 月 16 日(木)	小川哲男: 小学校における生活科・理科教育
* 6 月 23 日(木) 14:00-16:00	小学校教員とのワークショップ・ヒアリング（清水窪小学校）
6. 6 月 30 日(木)	グループワーク
* 7 月 7 日(木) 14:00-16:00	小学校教員とのワークショップ・案検討（清水窪小学校）
7. 7 月 14 日(木)	グループワーク
7 月 21 日(木)	
7 月 28 日(木)	
* 8 月 8 日(月)	小学校教員とのワークショップ(清水窪小学校)
* 8 月 9 日(火)	小学校教員とのワークショップ(清水窪小学校)
* 8 月 19 日(金)	レクチャーシリーズ(西條)にて発表（夜？ TTF）
後期	清水窪小学校研究授業と協議会で実施

■ 講義日程の最新情報についてはウェブサイトで告知

<http://sec-titech.jp/>

■ 推薦図書：

「科学・技術の現場と社会をつなぐー科学技術コミュニケーション入門」 培風館 2500 円

平成 23 年 4 月 3 日



平成 22 年度
科学技術コミュニケーション実践—メディアインターンシップ

世話教員：西條美紀（留学生センター教授）

日時： 前期 適宜実施（スケジュール表参照）
場所： 西 1 号館（留学生センター）1 階 118 号室（ラウンジ）他
単位： 2 単位 大学院広域科目 申告番号 99314 （最大履修人数：約 6 名）
課題： 出席（事前研修会、記事執筆作業および事後報告会）、アンケート、報告書提出

国内の科学技術政策機関や報道機関等において業務の一端を体験することで自らのキャリアパスや社会における科学技術コミュニケーションを学ぶ。さらにスキル習得と、インターンシップでの学びのアウトプットのために、サイエンスライティング実習も行う。なお、派遣にあたっては事前の書類および面接選考を課す。

スケジュール：

日付	内容	備考
4 月 7 日(木) 10:45-12:15	応募受付開始 ガイダンス	web site、メーリングリスト、東工大 HP、学務部掲示板等で告知 ガイダンス(留学生センターラウンジ) JST /British council
4 月 14 日(木) 10:45-12:15	ガイダンス	ガイダンス(留学生センターラウンジ) NISTEP / Science Museum
6 月 1 日 17:00	締め切り	メール添付、郵送、直接手渡しで受付
6 月中旬	面接	大岡山キャンパス西 1 号館(留学生センター) センター長室 面接官：西條美紀・川本思心
6 月中旬	決定	個別にメールで結果を告知
6 月下旬～ 7 月上旬	派遣前研修会 ライティング研修	西條美紀・社会人マナー指導（大岡山西 1 号館ラウンジ） 山本佳世子(日刊工業新聞)・サイエンスライティング実習
夏～秋	派遣	4 機関に 6 名程度を派遣(JST2 名、NISTEP1 名、日刊工業 1 名、読売 2 名)
	執筆作業	掲載先については検討中
2 月末-3 月頭	報告会	国内・海外インターンシップあわせた報告会を開催

派遣先（予定）：

科学技術振興機構（科学ネットワーク部）	9-11 月 サイエンスゴラを中心に実施
NISTEP（文部科学省科学技術政策研究所（第 2 調査グループ）	8 月頃 約 2 週間
日刊工業新聞社（編集局科学技術部）	10 月頃 約 1 週間
読売新聞社（編集局科学部）	9-10 月頃 約 1 週間

■過去の派遣レポート <http://www.sec-titech.jp/report/cate03/>

平成 23 年 4 月 3 日



平成 23 年度
グローバル人材のためのサイエンスコミュニケーション—海外インターンシップ

世話教員：野原佳代子（留学生センター准教授）

日時： 前期集中 適宜実施（スケジュール表参照）
場所： 西 1 号館（留学生センター）1 階 118 号室（ラウンジ）他
単位： 2 単位 大学院広域科目 申告番号 99312 （最大履修人数：約 15 名）
課題： 出席（事前研修会および事後報告会）、アンケート、報告書提出

海外の科学技術政策機関や科学館等において業務の一端を体験することで自らのキャリアパスや社会における科学技術コミュニケーションを学ぶ。なお、派遣にあたっては事前の書類および面接選考を課す。また、派遣に関わる費用の一部は援助される。

スケジュール：

日付	内容	備考
4 月 7 日(木) 10:45-12:15	応募受付開始 ガイダンス	web site、メーリングリスト、東工大 HP、学務部掲示板等で告知 ガイダンス(留学生センターラウンジ) JST /British council
4 月 14 日(木) 10:45-12:15	ガイダンス	ガイダンス(留学生センターラウンジ) NISTEP / Science Museum
4 月 15 日(金) 14:00-17:30	留学フェア	すずかけ台キャンパスホールで実施される留学フェアにて説明
4 月 20 日(水) 16:50-17:00	留学フェア	大岡山キャンパス西 9 号館で実施する留学フェアにて説明
6 月 1 日(水) 17:00	締め切り	メール添付、郵送、直接手渡しで受付
6 月 8、9、10 日 X:XX-X:XX	面接	大岡山キャンパス西 1 号館(留学生センター) センター長室 面接官:野原佳代子・マイケルノートン
6 月 17 日(金)	派遣者決定	個別にメールで結果を告知
6 月 30 日(木)	派遣前研修会	マイケルノートン・派遣概論（大岡山西 1 号館 ラウンジ）
7 月 7 日(木)	派遣前研修会	マイケルノートン・派遣先機関説明(派遣経験学生も参加)
7 月 14 日(木)	派遣前研修会	マイケルノートン・実習
夏～冬	派遣	4 機関に 15 名程度を派遣(British council(国内)6 名、London Science Museum 4 名、英国議会科学技術室 4 名、Walker Institute 1 名)
2 月末-3 月頭	報告会	国内・海外インターンシップあわせた報告会を開催

派遣先予定：

British council Japan 日本東京 8-9 月頃 約 2 週間
London Science Museum 英国ロンドン 8-9 月頃 約 2 週間
英国議会科学技術室 英国ロンドン 2 月頃 約 2 週間
Walker Institute 英国レディング 2 月頃 約 2 週間

■過去の派遣レポート <http://www.sec-titech.jp/report/cate04/>



後期関連科目

平成 23 年度 サイエンスカフェー組織と運営

世話教員：西條美紀（留学生センター教授）

日時： 後期木曜 3-4 限（10:40-12:10）全 16 回＋

場所： 西 1 号館（留学生センター）1 階 118 号室（ラウンジ）

単位： 2 単位 大学院総合科目 （最大履修人数：約 15 名）

課題： 出席、他カフェ参加レポートおよびカフェ実施後レポート提出

対面のイベントであるサイエンスカフェの企画・準備・開催という共通の目標に向けた協働作業を通じて、科学者・技術者として社会とコミュニケーションするための意識と方法を学ぶ。サイエンスカフェは例年 1 月末に開催。

スケジュール（予定）

回	日付	担当	タイトル・内容
1	10 月 6 日(木)	西條美紀	ガイダンスー科学技術コミュニケーションの考え方
2	10 月 13 日(木)	野原佳代子	サイエンスカフェとはー翻訳理論とアートから
3	10 月 20 日(木)		グループワーク:企画案出し
	10 月 27 日(木)		月曜授業振り替えのため休講
4	11 月 3 日(木)		グループワーク:企画整理
5	11 月 10 日(木)	肥田安弥女	ファシリテーションの実際 グループワーク:企画検討
6	11 月 17 日(木)	肥田安弥女	ファシリテーションを考えたカフェの企画 グループワーク:企画検討
7	11 月 24 日(木)		グループワーク:企画検討
8	12 月 1 日(木) * 土曜に実施	滝口健一郎 (NHK)	科学の見せ方① グループワーク:企画決定
9	12 月 8 日(木) * 土曜に実施	滝口健一郎 (NHK)	科学の見せ方② グループワーク:企画決定
10	12 月 15 日(木)		グループワーク企画詳細決定
11	12 月 22 日(木)		グループワーク企画詳細決定
12	1 月 5 日(木)		グループワーク企画詳細決定
13	1 月 12 日(木)		グループワーク企画詳細決定
14	1 月 19 日(木)		グループワーク:リハーサル
15	1 月 26 日(木)		グループワーク:リハーサル
*	1 月 28 日(土) 1 月 29 日(日)		カフェ当日
16	2 月 2 日(木)		反省会